

東広島市 秋満載情報

イベント(9月~11月)



2007酒まつり

時 期	名 称	問合せ先	
10月4日(土)・5日(日)	アクアフェスタin福富	アクアフェスタ実行委員会	080-6333-9068
10月11日(土)・12日(日)	2008酒まつり	酒まつり実行委員会	082-420-0330
10月24日(金)・25日(土)	和文化教育第4回全国大会 東広島大会	和文化大会第4回全国大会 東広島大会実行委員会 (教育委員会事務局内)	082-433-2144
10月中旬～適時	さつまいも収穫	福富物産しゃくなげ館	082-435-3533
11月1日(土)、2日(日)	生涯学習フェスティバル	教育委員会生涯学習課	082-420-0979
11月8日(土)、9日(日)	火とグルメの祭典 '08あきつフェスティバル	あきつフェスティバル 実行委員会 (安芸津史書産業課内)	0846-45-1623
11月15日(土)・16日(日)	エゴマ祭り	福富物産しゃくなげ館	082-435-3533
11月22日(土)・23日(祝)	東広島市民文芸祭	東広島市文化連盟	082-424-1047
平成20年11月23日(祝)	東広島市民芸能祭	東広島市文化連盟	082-424-1047
毎年第3日曜日	並瀧こもれびの会	(社)東広島市観光協会	082-420-0310
毎月4日	西条四日市	まちづくりくらし織り人	082-422-4413
毎月10日	酒蔵の街 てくてくガイド	観光協会西条駅前案内所	082-421-2511
毎週土日祝	ようこそ醸華町西条	観光協会西条駅前案内所	082-421-2511

旬なもの

時 期	名 称	問合せ先	
9月中旬～10月上旬	みやじまぶどう	福富ぶどう生産組合	082-435-3369
10月上旬～1月初旬	吉原ごぼう	とよさか四季菜館	082-432-4520
9月10日～11月末	りんご	小石川りんご園	082-432-2731
9月 6日～11月中旬		金安りんご園	082-432-4316
10月下旬～11月上旬	原産西条柿	JA広島中央営農経済部	082-423-5913
9月下旬～12月下旬	みかん	古本農園	0846-45-5062
		ミヅバ農園	0846-45-0386
10月10日～11月15日	まつたけ	観光まつたけ園・台	0823-82-6327
10月10日～10月末		石川商店	082-435-2093
9月下旬～10月下旬		豊栄市所産業建設課	082-432-4160
10月初旬～4月下旬	牡蠣	安芸津市所産業課	0846-45-1623
10月上旬～1月下旬	もくずかに	河内支所産業建設課	082-437-2901

まつり紹介

2008酒まつり実行委員長
井川 智文さん

2008酒まつり開催!!

酒まつりは、今年で19回目をを迎えます。各酒蔵では蔵を開放して様々なイベントを行います。酒ひろばでは全国約900銘柄のお酒を試飲することができ、メインステージでは、お笑い芸人や歌手のライブを行います。その他にも美酒鍋のコーナー、子供が遊べるわくわく広場など、大人から子供まで楽しめる企画いっぱいです。酒蔵を回るのもよし、酒ひろばで全国のお酒を飲み比べるのもよし、ステージでライブを楽しむのもよし、一日では回りきれないまつりです。

■お問い合わせ先
酒まつり実行委員会事務局
TEL:082-420-0330

特産品紹介

エゴマ

福富町ではエゴマを振興作物として奨励し、植え付けを行っています。古くは食用油、灯油として広く利用され、近年では、健康に良いとされているα-リノレン酸が多量に含まれていることが判明し、食用油の中でも大変注目されています。

■お問い合わせ先
(問)福富物産しゃくなげ館
TEL(082) 435-3533

東広島観光NEWS

東広島市観光協会会報

社団法人 東広島市観光協会
〒739-0025 東広島市西条中央7-23-35
TEL(082)420-0310.FAX(082)420-0329
URL <http://hh-kankone.jp/>
E-mail office@hh-kankone.jp

vol.13 2008 秋



河内町西宇山の棚田とそばの花 写真 沖 勝美さん(広島市南区)提供

トピックス

●宇山在来のそば「宇山三号」

宇山地区は河内町の北部に位置し、嶽ヶ城の中腹に帯状に集落がつながっており、耕地は七城七原七ガ谷と呼ばれる地形の谷沿いに広がっています。

そばは転作作物としてあちこちに植えられていて、九月中旬頃より真白い花をつけ見事です。宇山そばの特徴は収穫が遅く粒は極小粒であり、新そばとして食することができるは十一月下旬となります。また、他品種と比較して食味試験等で味が良いという結果が出ましたので、この宇山在来のそばを「宇山三号」とし、そばの里の主品種として指定しています。

そば処さわやか茶屋では、この「宇山三号」のみを利用して昔からの味を守っています。

そばの栽培をしてくださる農家の皆さんや、多くの支えを頂きながら、さわやか茶屋は今日も笑顔でお客様を迎えてお帰りしていただくよう心がけています。



さわやか茶屋スタッフ

●2008『ひがしひろしま音楽祭 Part2』 好評のうちに終了

6/1(日)、7/6(日)の2日間に渡って開催された音楽祭も多くの方にお越しいただき無事終了した。7/6(日)のPart2は、広島大学サタケメモリアルホールで行われ、招待演奏のITE(オランダ)の重厚で素晴らしいトロンボーンの音色に聴衆が魅了された。また、市内の小学生から一般的な団体による吹奏楽や合唱などの多岐に渡るジャンルで音楽祭も盛り上がった。当日、会場は満席となり、最後まで多くの方に楽しんでいただき、来年度も“音楽のあふれる街 東広島”を目指して、市民のまつりとしてさらに充実した音楽祭となるよう願っている。



ITEによるオープニングファンファーレ

●「2008酒まつり」準備進む

今年も酒まつりの準備が進んでいる。5月の末から実行委員会を開始し、隔週の実行委員会への参加、備品チェック、全国の蔵元へ酒ひろばへの出品依頼文書の発送など、多くのボランティアによって「酒まつり」は支えられている。酒のまつりと聞くと、大人の祭りと連想しがちだが、子供向けの企画も数多く考えられており、大人から子供まで楽しめる「酒まつり」を目指して、実行委員一同頑張っている。今まで行かれたことのない方もぜひ、10/11、12には酒まつりを盛り上げ、楽しんでいただきたい。



全国の蔵元へ発送作業

●アザレアフェアリイ各地で活躍

第6代アザレアフェアリイが各方面で活躍している。6/1ひがしひろしま音楽祭では司会役を立派に務めた。また、6/27リバーサイドフェスティバルにおいては、鮎のつかみどりを参加者と一緒にを行い、会場を盛り上げた。県



観光連盟主催の8/25ホスピタリティ研修会が行われ、おもてなしや挨拶の心構え、効果的なPRの方法などを学ぶとともに、各地の観光アシスタントと交流を深めた。

ホスピタリティ研修会

●市内探訪ツアー県道33号線を行く ～志和・福富・豊栄・河内の旅～7月13日(日)開催

市内の観光協会と黒瀬商工会で構成する東広島市観光振興協議会が、最近作成した人気の「東広島すいすいドライブマップ」を基に、バスツアーを実施した。満席の41名のお客様は東広島ボランティアガイドの会の名解説を得て、緑豊かな農村風景と多くの景勝地の魅力を満喫した。お客様より8割が‘とても良かった’残り2割が‘良かった’とのアンケートの回答を寄せてくださいました。



西蓮寺にて

●東広島観光展 東広島の魅力PR

6/21より7/6まで約2週間、広島大学中央図書館地域国際交流プラザにて「東広島観光展」を開催した。昨年より300人多い1800人の来場があり、東広島の新たな一面を発見できたと満足されていた。今年2回目を迎えた観光展の試みとして、商工会議所の協力を得て、東広島市の企業4社の紹介や、市の協力のもと6/27限定で東広島特産品市の開催した。特産品市は予想を超える人が訪れ、大盛況だった。大学と地域の交流の場として毎年継続していくと考えている。



観光マップ 設営

●家族連れで大賑わいの 河内リバーサイドフェスタ 7月27日(日)開催

「第19回リバーサイドフェスティバル」が7月27日(日)に河内町椋梨川河川敷と町民グランドで開かれた。同フェスティバルは今年で19回目を迎える、こどもたちに大人気の親水祭り。河川敷に水を引き込んだ浅瀬にアユ4,500匹を放流、約3,000人の家族連れがアユのつかみどりに挑戦した。捕ったアユは広場で塩焼きし、新鮮な美味しさを満喫した。



鮎のつかみどり風景

●どまんなか豊栄ヘンまつり 8月2日(土)夕開催

豊栄町は広島県の丁度中央に位置するところから、このまつりの名前が決まったとされる。祭りは夕方5時から始まり、町の人口4,000人を大幅に上回る7,000人の人々が訪れた。出し物は「公民館対抗カラオケチャンピオン大会」など、多岐にわたり、最後は‘ハソおどり’共演大会である。会場には数々の夜店が立ち並び、人々は夜のふけるのも忘れて楽しめた。



どまんなか豊栄ヘンまつりの様子

こども達によるよさこいソーラン

など、多岐にわたり、最後は‘ハソおどり’共演大会である。会場には数々の夜店が立ち並び、人々は夜のふけるのも忘れて楽しめた。

●市内探訪ツアー県道33号線を行く ～志和・福富・豊栄・河内の旅～7月13日(日)開催

市内の観光協会と黒瀬商工会で構成する東広島市観光振興協議会が、最近作成した人気の「東広島すいすいドライブマップ」を基に、バスツアーを実施した。満席の41名のお客様は東広島ボランティアガイドの会の名解説を得て、緑豊かな農村風景と多くの景勝地の魅力を満喫した。お客様より8割が‘とても良かった’残り2割が‘良かった’とのアンケートの回答を寄せてくださいました。



西蓮寺にて

オペラ『白壁の街』 ～演じて育つ・西条小6年生児童～

“冬場の寒さは骨身に凍みる それをしの凌ぐが蔵人気質 さあ よいしょ よいしょ”西条小学校六年生児童の演じる創作オペラ『白壁の街』で唄われる歌詞の一部である。

皆様ご存知の通り、西条小学校では今から二十八年前、オペラ『白壁の街』が創作されて今日まで欠けすことなく演じ継がれて来た。六年生児童を核として教職員・保護者・地域の各関係機関の協力支援と熱い教育愛によってなし遂げられた所産と言える。



オペラ『白壁の街』では、演出上酒造りの主要な行程から「洗い場」「かまぼ釜場」「こうじむろば麹室場」「仕込み場」「ふなば槽場」の発酵の流れと、蔵人の職人かたぎ気質と協業の楽しさをく酌みとり、ようつい要諦のこうじむろば麹室場・仕込み場に新酒造りの祝いに凝縮している。

洗い場の朝は早い。夜の明けない午前四時、井戸から汲みあげた冷水を使って、米洗い専門の蔵人三人組が腕まくりして、磨きぬかれた微細な米粒をすぐ掬うように、満べんなく冷水に添わせるように洗うのである。洗うその日の室温と洗いの時間は、分、秒の単位で蔵人三人の呼吸と勘。“蒸し米の外硬く、中ほっこりと軟らかに”の呼吸は、酒造りの成否に深く繋がる至難の業と言っても過言ではない。



平成二十年度、二十八代目オペラ『白壁の街』を演ずる六年生児童の出演志氣は極めて高い。蔵人達の職能理解に加え、連帯の職人気質を学び取っていて、それぞれの役柄の演技に活かし切っている。相互に演技を見合い、自分達の役柄を‘連’として意識しているところは、観者に鳥肌を立てさせ、深い感動を呼ぶことであろう。

オペラ『白壁の街』を演じ終えた二十八代目六年生児童が、フィナーレの舞台で静止するおり、児童の風貌は演技を超える自己実現に自信と誇りを得た顔に変容しているであろう。



平成20年(28代)西条小学校6年生児童
身を震わせ、涙をためている児童。放心している児童。冬場の骨身に凍みる寒さをしの凌ぐだ無名の蔵人達から生き方も学びとった所産。それが『白壁の街』の演出意義
元 西条小学校 教諭
腰本 悅二さん

